

通巻5号 2014年(平成26年)11月20日発行 発行所/一般社団法人タスクフォース21事務局 <http://www.taskforce-21.com> ©会員限定頒布・禁無断転載◎
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-6 アライビル7階 株式会社ノラ・コミュニケーションズ内 tel. 03-3204-9401 fax. 03-3204-9402 info@noracom.co.jp

「リスク」を伝える 営業活動の進め方



例 会 報 告

●第107回例会

講演、プレゼンテーションの概要は本号掲載の講演要旨の通りです。
2014年9月16日 アキバプラザ 出席者63名

INDEX

【第107回例会講演要旨】

講演①	2
「LPガスを巡る最近の状況～新しいエネルギー基本計画を踏まえて～」	
講師：経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 石油流通課 企画官 濱田 直春 氏	
講演②	13
「エネルギー自由化の方向性とエネルギー業界の地殻変動」	
講師：フリージャーナリスト 山崎 康志 氏	
プレゼンテーション	19
「『eガスチケット』について」	
発表：東京計器株式会社 東京支店長 横沢 正彦 氏	

【災害対応コンソ、秋期オープンセミナー開催/ 合同演習成果報告】	23
-------------------------------------------	----

【幹事会報告】	30
---------------	----

【107回例会アンケート】	30
---------------------	----

【タスクフォース21会報】	31
---------------------	----

【「会報会員」募集中】	32
-------------------	----

経済産業省資源エネルギー庁は10月28日、「再生可能エネルギー発電事業に関する注意喚起」という文書を出しました*。内容は①認定だけでなく、連系承諾が必要、②条件付き認定は、最大360日で失効、③接続についてのリスクを説明、確認…というものです。これは、これまでの認定内容の再確認ですが、特に電力会社の買取拒否を念頭にしたもの。文書では、「今後、再生可能エネルギー発電事業を行おうとする場合は、認定申請を行う前の事業計画段階から、電力会社に対して、接続の可能性について十分ご相談ください。また、場所及び設備等の確保は、連系承諾を得てから行うようにしてください」としています。

買取拒否は大規模なメガソーラーなどが対象で、九州電力・四国電力・北海道電力は現在も10kW未満は通常受付、東北電力では50kW未満まで通常受付としていますので、小規模な家庭用についてはいまのところ買取は継続されるようです。発電への影響が少なく、売電分も近所で消費されるというのが理由のようです。しかし、電力会社のことですから……。

太陽光販売を積極的に行ってきた事業者には心配な状況が続きますが、それは太陽光を導入したお客様も同じです。こういふときこそ、お客様への情報提供と、LPガスも含めたエネルギーの複合利用をお伝えすべきでしょう。このような「『リスク』を伝える営業活動の進め方」も、当会の研究テーマだと考えて講師探しをしています。 【事務局】

*<http://www.taskforce-21.com/ene201410.pdf>

講演要旨の掲載にご理解・ご協力をいただいた講師の方々に感謝申し上げます。